

資料No. 1

辰野町立小・中学校あり方検討委員会の経過と協議の方向性

I 第1回検討委員会における協議概要

1 委員会日時 令和6年1月25日(木) 午後6時30分～

2 委員会次第

(1) 委嘱書交付

(2) 自己紹介

(3) 委員会設置要項確認

(4) 正副委員長選出

・委員長：増澤利定さん（学識経験者）

・副委員長：小口美景さん（一般公募者）

(5) 協議事項

①新たな「辰野町立小・中学校あり方検討委員会」の立ち上げについて

宮澤教育長から「あり方検討委員会」立ち上げの背景を近年の出生者数や教育環境を交えて説明。辰野町教育理念と方針、辰野町が目指している教育を説明。検討委員会での検討事項は少子化の進展に対応した望ましい教育環境のあり方、就学前から一貫した支援・指導のあり方に関する事項、その他、教育委員会が必要と認める事項。

②町内小・中学校の現状について

事務局より説明。町内の18歳未満の状況から地域別数、学校別推定入学児童数を説明。2012年以降の県内での統廃合にあった小学校、辰野町内の小中学校の歴史を説明。

③検討委員会の進め方について

教育長より説明。今回出された意見や要望を論点整理し、議事録を作成し、委員確認の上、資料と共にホームページへ掲載。委員会は2ヶ月に1回の開催を予定。第2回は今回の論点整理から始まり、学習会を予定。協議を進める中で、県内先進地の視察を実施し、大まかな論点整理ができたところで、パブリックコメントの実施を予定。

II 第2回検討委員会における協議概要

1 委員会日時 令和6年4月25日(木) 午後6時30分～

2 委員会次第

(1) 委嘱書交付

(2) 自己紹介

(3) 協議事項

①「第1回辰野町立小・中学校あり方検討委員会」について

事務局より説明。「あり方検討委員会」立ち上げの背景と検討事項について確認。委員より出された質問のうち「検討委員会のスケジュール」と「今の学校の現状と今後の見通し」について、資料に基づいて説明。

②辰野町の特色を生かした学校のあり方、地域と連携した教育課程のあり方について

ワークショップ（ワールドカフェ方式）を行い、4テーブルで対話を行い、テーブルリーダーがテーブルごとの検討内容等を発表。

協議したテーマ

「辰野町の特色を生かした学校のあり方、地域と連携した教育課程のあり方」

- ・こんな学校ができたらいい
- ・子どもたちにこんな学びをさせてあげたい
- ・小中学校のかかわりはどうあったらよいか
- ・地域はどのようにかかわったらよいか

Ⅲ 第3回検討委員会における協議概要

1 委員会日時 令和6年7月9日(火) 午後6時30分～

2 委員会次第

(1) 協議事項

①前回お持ち帰りいただいた資料の確認

教育長より説明。「辰野町立小・中学校のあり方に関する提言書（平成29年9月）」「町内小・中学校の今後に対する辰野町教育委員会の見解」「辰野町の目指す教育ビジョン」について、資料に基づいて説明。

②前回までの経過と協議の方向性

事務局より説明。「辰野町立小・中学校あり方検討委員会の経過と協議の方向性」について、資料に基づいて説明。

③これからの時代にふさわしい辰野町の学校のあり方について

「これからの時代にふさわしい辰野町の学校のあり方」をテーマとし、「少子化の進展に対応した学校」「多様な子どもたち一人一人を大切にする学校」「これからの社会を生き抜く子どもたちを育てる学び」「地域と共に歩む学校」を着眼点に、3グループに分かれてグループ討議を行い、記録係がグループごとの検討内容等を発表。

Ⅳ 第4回検討委員会における協議の方向性

1 前回までの経過と協議の方向性

2 「第3回のグループ討議の論点整理」をもとに再度グループ討議

テーマ：「これからの時代にふさわしい辰野町の学校のあり方」

- ・少子化の進展に対応した新たな学校

※前回のグループ討議において委員の皆様から「学校を集約する」というご意見が多く出された。少子化が進展し、多様な子どもたちが存在し、そしてこれからの社会を生き抜いていく子どもたちにとっての辰野町の学校のあり方として「学校を集約する」ことが望ましいという大方のご意見である。その一方で「一つにする必要はない」というご意見もあった。討議の進め方についても「学校の数を維持するか統合するかを決めて進めた方がよい」というご意見も出された。

そこで、今回は、「少子化の進展に対応した新たな学校」として、「学校を集約する」ということを中心に、そのメリットや具体、課題等について改めてグループ討議を行い、委員会としての一定の方向を見出したいと思う。